

(様式1)

開放系栽培研究計画承認(変更)申請書


申請年月日 (平成 22 年 5 月 17 日)

	所 属	職 名	氏 名
栽培研究責任者	フロンティア科学実験 総合センター	教授	明石 良
作業管理主任者	フロンティア科学実験 総合センター	助教	権藤 崇裕
情報提供主任者	フロンティア科学実験 総合センター	教授	明石 良
研究課題名	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ GHB119 の 生物多様性影響評価試験		
栽培研究の目的 と概要	<p>1. 目的 除草剤グルホシネート耐性およびチョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>bar, cry2Ae, Gossypium hirsutum</i> L.) (GHB119, OECD UI: BCS-GH005-8) (以下、「GHB119」とする。)を開放系栽培研究ほ場 (以下、「隔離ほ場」とする。)で栽培し、我が国の自然条件下におけ る GHB119 の特性について、非組換えワタと比較する。</p> <p>2. 概要 本栽培研究では、宮崎大学の隔離ほ場において、GHB119 及び非組 換えワタを栽培し、生育及び形態的特性、成体の越冬性、有害物質の 産生性等について調査し、我が国の環境下における生物多様性影響を 比較・検討する。また、本栽培試験計画を別紙 1 に示した。</p>		
栽培する第一種 使用規程承認作物 に関する事項	<p>1. 作物の名称 除草剤グルホシネート耐性およびチョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>bar, cry2Ae, G. hirsutum</i> L.) (GHB119, OECD UI: BCS-GH005-8)</p> <p>2. 第一種使用規程の承認取得年月日 GHB119 は、平成 22 年 1 月 25 日に農林水産大臣および環境大臣よ り、遺伝子組換え生物等の第一種使用(隔離ほ場栽培)の承認を受けてい る。</p> <p>3. 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性 食品安全性承認および飼料安全性承認の申請は、それぞれ平成 22 年 に行う予定である。</p>		

栽培研究を実施する区画の面積及び位置	<p>1. 第一種使用規程承認作物の栽培面積：約 115 m²</p> <p>2. 第一種使用規程承認作物の栽培位置：宮崎大学隔離ほ場 ほ場 2 (提出書類の隔離ほ場の所在地付近の見取り図、隔離ほ場の構造及び規模を示す図面を参照)</p>	
栽培研究期間	承認日 ～ 平成 24 年 5 月 31 日	
同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項	<p>「第一種使用規程承認組換え作物栽培指針」において、ワタに関して隔離距離は定められていない。また、開花期間中には訪花昆虫による飛散を防止するために防虫ネットで被覆する。</p> <p>なお、隔離ほ場周辺には、ワタの栽培は行われていない。また、ワタの花粉は重く、広範な飛散は想定されない。</p>	
大学内での収穫物、実験材料への混入防止措置	<p>1. GHB119 の種子等には、明確に分別できるようにラベルを貼付した上で他の供試材料と分離して保管する。</p> <p>2. GHB119 の種子等を実験室等から隔離ほ場まで運搬する場合、並びに隔離ほ場において収穫された GHB119 および非組換えワタの種子、花などの収穫物および根圏土壌を隔離ほ場の外に運搬する場合には、こぼれ落ちないように袋に入れ、さらに密閉容器に入れて運搬する。</p> <p>3. 中間管理作業及び収穫作業に使用する機械は、隔離ほ場内専用の機械を使用し、使用后隔離ほ場内で洗浄する。</p> <p>4. 隔離ほ場で使用した靴等に付着した GHB119 の種子等が隔離ほ場の外に持ち出されることを防止するため、隔離ほ場内で使用した靴等は隔離ほ場内において洗浄する。</p> <p>5. ワタの種子等が野鳥等の食害により拡散するのを防ぐため、栽培期間を通して栽培実験区画を防鳥ネットで覆う。</p>	
第一種使用規程承認作物の栽培研究終了後の処理等	<p>1. 収穫した GHB119 および非組換えワタの種子は収量等の分析及び形質発現確認試験に供試し、残った種子は宮崎大学フロンティア科学実験総合センターの P1 実験室中の冷蔵庫において 1 年間保管する。隔離ほ場から保管先へ種子を搬出する際には、こぼれ落ちないように袋に入れ、さらに密閉容器に入れて運搬する。また、上記試験に供試後の種子や植物体はオートクレーブで不活化し廃棄する。</p> <p>2. 比較調査に用いた GHB119 及び非組換えワタの葉、茎、根等の植物体は、調査終了後、隔離ほ場内で土壌に鋤込む等により確実に不活性化する。</p>	
学外機関と共同研究の場合	学外機関の名称	バイエルクロップサイエンス株式会社
	代表者の氏名	ギャビン マーチャント
	主たる事務所の所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 5 号

調査項目及び調査時期

別紙 1

2010	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 40%;"></div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>形態及び生育特性 収量調査 収穫種子の発芽率調査</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 40%;"></div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>成体の越冬性 形質発現調査</p> </div> </div>											
2011	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	<p>→ 収穫種子における形質発現調査(網) 保管後の収穫種子の発芽率調査(網)</p> <p>→ 有害物質の産生性試験(網)</p> <p style="text-align: center;">—————→ モニタリング調査</p>											
2012	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	<p>モニタリング調査 →</p> <p style="text-align: center;">栽培試験終了</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: yellow; border: 1px solid black; margin-right: 10px;"></div> <p>開花期間中は、防虫ネットの設置 (網): 特定網室での試験 第二種遺伝子組換え使用学内申請中</p> </div>											